

設定来分配金再投資基準価額が最高値を更新

日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)
追加型投信/国内/株式

2021年12月20日

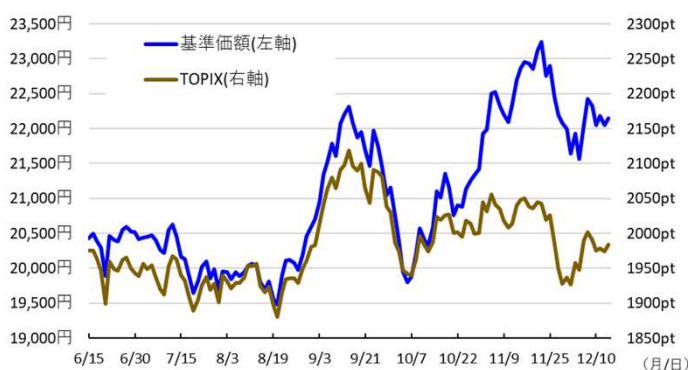
- 当ファンドは12月15日に第22期決算を迎え、**1,200円**(一万口当たり、税引前)の収益分配を行いました。
- 12月15日の基準価額は**20,947円**となり、第21期末(2021年6月15日)の20,425円から、分配金を含めて**1,722円**、**8.4%の値上がり**となりました。
- 11月の下旬には、設定来の分配金再投資基準価額が過去最高値を更新**しました。
- 当レポートでは、第22期の運用経過についてご案内いたします。

1. 基準価額の動き

第21期末(2021年6月15日)に20,425円であった基準価額は、第22期末(2021年12月15日)には、**20,947円**となりました。第22期末に1,200円の収益分配を行いましたので、これを含めた**当期の基準価額の値上がりは1,722円**となりました。

分配金を含めた基準価額の上昇率は8.4%となり、代表的な株価指数であるTOPIX(東証株価指数)の騰落率0.4%を8.0%上回りました(図表1)。

図表1. 第22期の基準価額とTOPIX



(注) 12月15日の基準価額は分配落ち前を表示
(期間) 2021年6月15日～2021年12月15日。日次
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

2. 設定来のパフォーマンス

設定来、第22期末までのトータルリターン(分配金再投資基準価額の騰落率)は**354.6%**となり、同期間のTOPIXの騰落率119.3%の3倍近い上昇となっています(図表2)。

分配金再投資基準価額は、2020年に大幅に上昇した後、2021年に入ってから高値圏で一進一退の動きになっていましたが、9月頃からレンジを上放れる動きとなり、10月にかけて一旦調整したものの、その後再び上値を追う展開に入り、**11月下旬には過去最高値を更新**しました(図表3)。

図表2. 期間ごとのパフォーマンス

| 期間 | ファンド | TOPIX | 差 |
|------|--------|--------|--------|
| 第22期 | 8.4% | 0.4% | 8.0% |
| 過去1年 | 18.3% | 11.3% | 7.0% |
| 過去3年 | 84.9% | 24.5% | 60.4% |
| 過去5年 | 108.9% | 28.6% | 80.3% |
| 設定来 | 354.6% | 119.3% | 235.3% |

図表3. 設定来の分配金再投資基準価額



<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

3.第22期の基準価額の変動に寄与した銘柄

プラス寄与銘柄

主としてデジタルテクノロジー分野で組み入れていた、①電子材料銘柄群(デクセリアルズ、新光電気工業、イビデン)、②DX(デジタル・トランスフォーメーション:デジタル技術の活用による業務の変革)関連銘柄群(野村総合研究所、キーエンス、リクルートホールディングス)、③エンタテインメント分野のデジタル化関連銘柄(KADOKAWA、ソニーグループ)などがプラス寄与上位銘柄となりました。

マイナス影響銘柄

投資ファンドにおける投資先の市場価値の減少が懸念されたソフトバンクグループのほか、グリーン・テクノロジー分野の銘柄にマイナス影響となった銘柄が目立ちました。

プラス寄与上位10銘柄

| 銘柄名 | 分野 |
|-----------------|------|
| 1 デクセリアルズ | デジタル |
| 2 新光電気工業 | デジタル |
| 3 野村総合研究所 | デジタル |
| 4 ウエストホールディングス | グリーン |
| 5 KADOKAWA | デジタル |
| 6 ソニーグループ | デジタル |
| 7 キーエンス | デジタル |
| 8 リクルートホールディングス | デジタル |
| 9 イビデン | デジタル |
| 10 ミスミグループ本社 | デジタル |

マイナス影響上位10銘柄

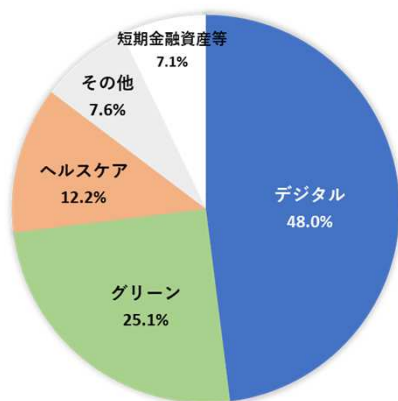
| 銘柄名 | 分野 |
|--------------|-------|
| 1 ソフトバンクグループ | デジタル |
| 2 ステムセル研究所 | ヘルスケア |
| 3 レノバ | グリーン |
| 4 任天堂 | デジタル |
| 5 東海旅客鉄道 | グリーン |
| 6 豊田通商 | グリーン |
| 7 ヤマハ発動機 | その他 |
| 8 TOYO TIRE | その他 |
| 9 東芝 | グリーン |
| 10 富士通 | デジタル |

4.期中の運用の振り返り

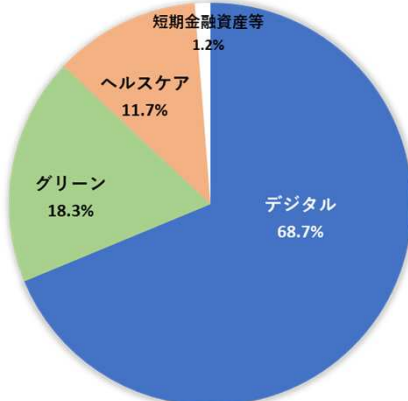
当期の運用を振り返りますと、これまでも月次レポートや情報提供用資料でお伝えしてきた通り、①経済・社会のデジタル化の進展から恩恵が見込まれる**デジタル・テクノロジー分野**、②地球温暖化を抑制する脱炭素政策から恩恵が見込まれる**グリーン・テクノロジー分野**、③人類永遠の願望である健康と美を支える**ヘルスケア・テクノロジー分野**を重点投資分野と位置付けた運用を継続しました。これは、この3分野が一時的ではない**長期的・構造的な成長分野**だと考えているためです。

右の円グラフは、注目分野別の構成比です。区分は当社が独自に設けたものであり、比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。第22期は、半導体関連銘柄を中心に**デジタル・テクノロジー分野**の組入比率を大幅に引き上げました。このことが10月以降の**基準価額上昇**に寄与しました。

第21期末(2021年6月15日)



第22期末(2021年12月15日)



※ グラフの比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

デジタル・テクノロジー分野

デジタル・テクノロジー分野における上位組入銘柄は、右表のように入れ替わりました。第22期末時点では、電子書籍の拡大から収益性の改善が進むと判断しているKADOKAWAを最上位組入銘柄としています。

第21期末(2021年6月15日)

| 銘柄名 | |
|-----|-----------------|
| 1 | 日立製作所 |
| 2 | 新光電気工業 |
| 3 | 野村総合研究所 |
| 4 | セブン&アイ・ホールディングス |
| 5 | マネーフォワード |

第22期末(2021年12月15日)

| 銘柄名 | |
|-----|----------|
| 1 | KADOKAWA |
| 2 | デクセリアルズ |
| 3 | キーエンス |
| 4 | ソニーグループ |
| 5 | イビデン |

グリーン・テクノロジー分野

グリーン・テクノロジー分野では、EV（電気自動車）と再生可能エネルギー発電に着目した銘柄選定を行いました。

第21期末(2021年6月15日)

| 銘柄名 | |
|-----|--------|
| 1 | トヨタ自動車 |
| 2 | オリックス |
| 3 | 東芝 |
| 4 | 東海旅客鉄道 |
| 5 | 豊田通商 |

第22期末(2021年12月15日)

| 銘柄名 | |
|-----|--------------|
| 1 | トヨタ自動車 |
| 2 | ウエストホールディングス |
| 3 | デンソー |
| 4 | 日本電産 |
| 5 | 富士電機 |

ヘルスケア・テクノロジー分野

ヘルスケア・テクノロジー分野では、一部の銘柄入れ替えを行いました。第22期中には、事業構造改革を推進し、ヘルスケア事業が最重要セグメントになりつつある富士フイルムホールディングスを新規に組み入れました。

第21期末(2021年6月15日)

| 銘柄名 | |
|-----|----------------|
| 1 | オリンパス |
| 2 | 三菱ケミカルホールディングス |
| 3 | 第一三共 |
| 4 | テルモ |
| 5 | 森永乳業 |

第22期末(2021年12月15日)

| 銘柄名 | |
|-----|----------------|
| 1 | 第一三共 |
| 2 | オリンパス |
| 3 | テルモ |
| 4 | 富士フイルムホールディングス |
| 5 | JMDC |

5. 今後の投資環境と運用方針

テクノロジー株への投資で中長期的にリターンを高めるためには、テクノロジーそのものに過度に固執せず、**投資環境の変化に応じて組入れ銘柄を入れて替えていくことが重要**だと、当ファンドの運用担当者は考えています。そのため、投資銘柄に何らかの変化が生じていなくても、投資環境が変化したという認識に基づいて銘柄入れ替えを行う場合があります。

今後の投資環境については、①**米国の米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和姿勢を修正し始めたこと**、②**新型コロナウイルスの新たな変異種であるオミクロン株の感染拡大の行方**、が特に重要なポイントだと見ております。①については、FRBが金融引き締め姿勢を強めた場合、長期金利が上昇してテクノロジー株には逆風となる可能性がありますと考えています。また②については、まだ分からないことが多い段階ですが、仮に再び世界中で経済活動への制限が強まり、金融政策が緩和に転じるようなことになれば、2020年に似た投資環境が再来する可能性があります。これはテクノロジー株にとっては追い風になりうる環境です。当面は①と②の動向を注視しながら運用していく必要があると考えています。

①**デジタル・テクノロジー**、②**グリーン・テクノロジー**、③**ヘルスケア・テクノロジー**を重点投資分野と位置付けた運用を変える必要はないと考えています。引き続き、投資環境に応じた銘柄選定を行うことで、基準価額の上昇を目指してまいります。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)
追加型投信／国内／株式**
運用状況

(作成基準日：2021年12月15日)

| | |
|-------|----------|
| 基準価額 | 20,947 円 |
| 純資産総額 | 39.5 億円 |

※基準価額は1万口当たりです。

| 最近5期の分配金の推移 | | |
|-------------|------------|----------|
| 第18期 | 2019/12/16 | 500 円 |
| 第19期 | 2020/6/15 | 500 円 |
| 第20期 | 2020/12/15 | 1,000 円 |
| 第21期 | 2021/6/15 | 1,100 円 |
| 第22期 | 2021/12/15 | 1,200 円 |
| 設定来合計 | | 13,300 円 |

※分配金は1万口当たり、税引前です。
運用状況等によっては分配金額が
変わる場合、或いは分配金が支払
されない場合があります。

| ポートフォリオ構成比率 | |
|-------------|---------|
| 株式 | 98.8% |
| (内国内株式) | (98.8%) |
| (内先物) | (0.0%) |
| 短期金融商品その他 | 1.2% |
| 組入銘柄数 | 47銘柄 |

 ※当ファンドの純資産総額に対する
比率です。

| 騰落率 | 1カ月前 | 3カ月前 | 6カ月前 | 1年前 | 3年前 | 設定来 |
|------------|--------|------|------|-------|-------|--------|
| 分配金再投資基準価額 | ▲ 3.2% | 0.3% | 8.4% | 18.3% | 84.9% | 354.6% |

※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。
※当ファンドは、特定の指数に連動する、または上回る運用を目指していないため、特定のベンチマーク
および参考指数を設けておりません。

| 国内株式市場別組入比率(純資産比) | | | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|--------|------|
| 市場 | 東証第1部 | 東証第2部 | その他市場 | ジャスダック | マザーズ |
| 組入比率 | 95.3% | 0.0% | 0.0% | 3.1% | 0.4% |

| 組入上位10業種 | | |
|----------|--------|-------|
| 1 | 電気機器 | 31.1% |
| 2 | 情報・通信業 | 20.4% |
| 3 | 化学 | 11.8% |
| 4 | 精密機器 | 7.1% |
| 5 | 輸送用機器 | 6.6% |
| 6 | 建設業 | 4.3% |
| 7 | サービス業 | 3.9% |
| 8 | 医薬品 | 2.8% |
| 9 | 電気・ガス業 | 2.7% |
| 10 | その他製品 | 2.5% |

| 組入上位20銘柄 | | | | | |
|----------|--------------|------|----|---------------|------|
| 1 | KADOKAWA | 4.6% | 11 | ADEKA | 2.9% |
| 2 | トヨタ自動車 | 4.3% | 12 | 第一三共 | 2.8% |
| 3 | デクセリアルズ | 4.0% | 13 | ソフトバンクグループ | 2.8% |
| 4 | キーエンス | 3.7% | 14 | JSR | 2.8% |
| 5 | ソニーグループ | 3.5% | 15 | リクルートホールディングス | 2.6% |
| 6 | イビデン | 3.4% | 16 | オリンパス | 2.5% |
| 7 | 新光電気工業 | 3.4% | 17 | テルモ | 2.4% |
| 8 | 野村総合研究所 | 3.2% | 18 | レーザーテック | 2.3% |
| 9 | ウエストホールディングス | 3.1% | 19 | デンソー | 2.3% |
| 10 | エヌ・ティ・ティ・データ | 3.0% | 20 | HOYA | 2.2% |

※各比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）：
純資産総額×年率1.54%（税抜1.40%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

| 商号 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------|------------------|---------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会 |
| (金融商品取引業者) | | | | | |
| 岡三証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第53号 | ○ | ○ | | ○ |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第52号 | ○ | ○ | ○ | |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第169号 | ○ | | | |
| auカブコム証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第61号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社SBI証券 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 三縁証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第22号 | ○ | | | |
| JPアセット証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第2410号 | ○ | | | |
| 益茂証券株式会社 | 北陸財務局長(金商)第12号 | ○ | | ○ | |
| 松井証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第164号 | ○ | | ○ | |
| 楽天証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 野畑証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第18号 | ○ | | | ○ |
| (登録金融機関) | | | | | |
| PayPay銀行株式会社 | 関東財務局長(登金)第624号 | ○ | | ○ | |

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)